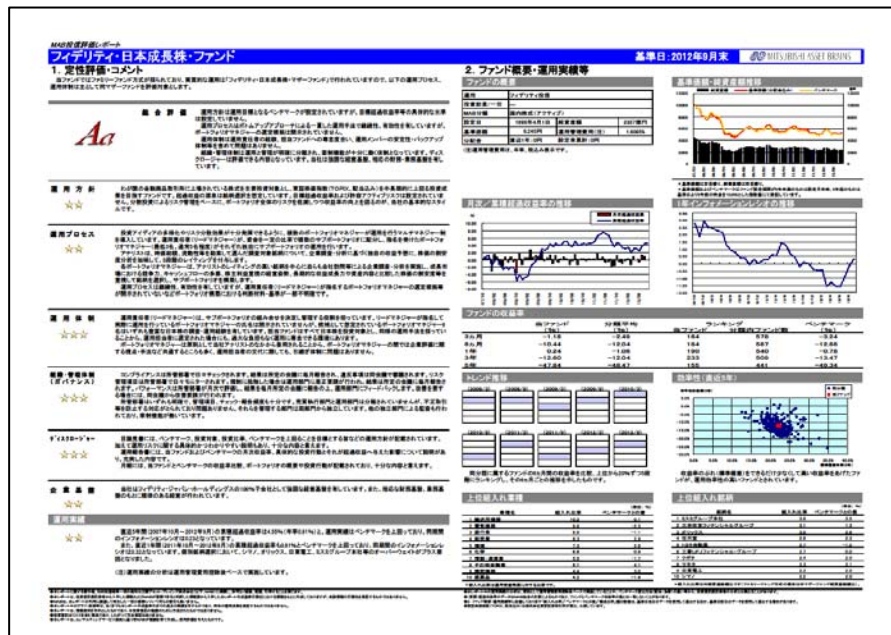


MAB投信評価レポート ユーザーズガイド



1. 定性評価・コメント

MAB独自の評価基準にもとづき、対象ファンドが優れた運用力を有しているか、また、リスク・コンプライアンス管理体制をはじめとするファンドのガバナンス機能が有効に働いているかどうかという観点から、個別ファンドごとに絶対評価を行います。なかでも運用方針、運用プロセス等の定性評価に重点を置き評価します。

●運用方針

ファンドの運用方針、運用目標、超過収益の源泉等が明確に設定されており、かつ妥当であるかを評価します。また、コスト・商品設計の妥当性についても評価します。

●運用プロセス

運用方針・目標を実現するために必要十分かつ整合性のあるプロセスが組み立てられているか、そのプロセスの各段階において、明確な判断基準にもとづいた運用が行われているか、優れた運用プロセスであるかを評価します。

●運用体制

運用責任者やファンドの運用に係る調査担当者等の経験、運用実績、業務遂行環境、交替の有無、引継ぎ体制等、運用プロセスを機能させることが可能な運用体制であるかを評価します。

●組織・管理体制

運用に関するマネジメント層のコミットメント状況、リスク管理、コンプライアンス、パフォーマンス評価について、必要項目を適度な頻度で管理しているか、運用から独立した部門によるチェックが行われ、牽制が働く体制を構築しているかを評価します。

●ディスクロージャー

情報開示姿勢は適切であるか、また、目論見書、運用報告書、月報、週報等を対象として、ファンドの運用方針、運用プロセス、運用状況等が過不足なく明確かつ、分かり易く記載されているかを評価します。

●企業基盤

運用業務を行っていくために十分な企業基盤を有しているか、経営方針、財務基盤、業務基盤等を評価します。

●運用実績

運用実績については多面的に分析し、総合評価に盛り込まれています。アクティブファンドについては、インフォメーションレシオの水準、傾向値、同一カテゴリ内相対比較等の項目を、インデックスファンドについては、修正トラッキングエラーの水準、同一カテゴリ内相対比較等の項目を、それぞれMAB独自の手法でポイント化し、三段階表示したものです。

2. ファンド概要・運用実績等

アクティブファンドの運用実績分析

●ファンドの収益率

◇収益率：分配金の再投資収益を考慮した方式（分配金再投資方式）により、3・6か月、1・3・5年の累積収益率を算出します。

◇ランキング：MAB独自のファンド分類（MAB分類）を用いて、同一分類に属するすべてのファンドを対象にランキングします。

●トレンド推移

同分類に属するファンドの6か月累積収益率を用い、パフォーマンス上位のファンドから20%ずつ5段階に分割した上で、当該ファンドがどの位置に属しているか、主にパフォーマンスの安定性の見地から分析します。

●効率性

ファンドが取ったリスクに対し、どの程度の収益をあげているかを分析します。

インデックスファンドの運用実績分析

●ファンドの収益率

3・6か月、1・3年の累積超過収益率と1年修正トラッキングエラー（月ベース、年率換算）を算出します。

●ベンチマークとの相関

ベンチマークの動きとファンドの動きの類似性の強さを示します。

●ベータ値

ベンチマークの動きに対して、ファンドの基準価額がどの程度動いたかを分析します。